

「開港5都市景観まちづくり会議 2019 横浜大会」を開催！

シンポジウムと分科会の一般参加者を募集します！

開港5都市景観まちづくり会議は、安政5年に開港の港に指定された函館、新潟、神戸、長崎、そして横浜の開港5都市の市民が、互いに似た要素をもつ景観や歴史、文化などを大切に守り、愛着をもってそだて、個性豊かで魅力あるまちづくりを行うため、相互に交流し学び合う会議です。

2019 横浜大会は、市内の景観・まちづくり活動を行う市民団体を中心に昨年度一般公募した市民運営メンバーを加えた実行委員会が主催する、横浜市民主導の大会です。

1993年に神戸市で始まり、今年で25回目の節目を迎える本大会では、開港160周年に合わせた様々な取組と連携し、横浜市ならではのおもてなしで会議を盛り上げます！



1 開催概要

【テーマ】 見つけよう、広げよう！開港都市の可能性

【開催期間】 2019年11月1日(金)・2日(土)・3日(日)

2 一般参加者募集内容

(1) 全体会議Ⅰ シンポジウム

～開港5都市の活動系譜と今後の景観まちづくりの可能性～

【日時】11月1日(金) 14:00～17:00(予定) 【参加費】無料



本会議に初参加の方でも開港都市の景観まちづくりを知っていただけるように、長年、本会議に参加している神戸市の旧居留地や、横浜市の商店街などの市民団体の活動内容を紹介し、本会議の25年間の成果を振り返ります。現在の横浜の景観まちづくりの取組を紹介しつつ、今後の「開港5都市」の景観まちづくりの種(キーワード)を探し、次代の魅力づくりの可能性を考えます。

(2) 分科会～横浜の「開港」を感じるまちあるき～ 【要事前申込】

【日時】11月2日(土) 9:00～16:30 【参加費】3000円(昼食付き)



市内各地を対象に5つのテーマに分かれ、「まちあるき」や「ワークショップ」等を実施します。開港と共に歩んだ山手の歴史や、開港期を支えた郊外部の農業・養蚕等を取り上げるとともに、この秋オープンする新しい施設など、最新の横浜の魅力をご紹介します。

- ① 洋館だけじゃない、山手の魅力を発信します！！～開港期の明治を味わう～
- ② 海から見た横浜～クルーズが港の景観を変える？ウォーターフロントの景観を考える～
- ③ 地域に開かれたコミュニティ拠点の創り方～今蘇る横浜商人の心意気～
- ④ 開港を支えた横浜郊外の活かし方を考える～食と農、そして旧養蚕古民家～
- ⑤ 「知る」ことで景観(まち)をどんどん好きになる～まちを自分ごとにするガイドツアー～

※開催内容や募集案内の詳細につきましては、下記、横浜市都市デザイン室ウェブサイト

https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/toshiseibi/design/kaikou5toshi_2019.html

をご覧ください。

※取材を希望される場合は、10月11日(金)17時までに下記お問合せ先にご連絡ください。

お問合せ先

都市整備局企画部都市デザイン室長 梶山 祐実 Tel 045-671-2009